

日本ユニシス株式会社

2012年3月期「通期業績予想の修正等、請負開発損失引当金の計上、繰延税金資産の取崩しおよび配当予想の修正に関するお知らせ」説明会（2012年1月25日開催）

主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

Q: 当第3四半期において請負開発損失引当金繰入額として37億円を売上原価に計上するとのことだが、営業利益と経常利益の通期の予想を変更しなかった背景を教えてください。

A: 上期時点では、下期の不採算リスクとして16億円を織り込んでいたため、21億円の減益要因となったが、売上原価や販管費抑制により吸収できる見通しであることから、営業利益、経常利益の通期予想は変更していない。

Q: さらに稼働延期でコスト拡大となるリスクについて確認したい

A: 稼働時期は、十分に余裕をもって設定しているほか、顧客を含めての万全な体制強化を図っていることから、これ以上の稼働延期はないものと考えている。さらに、開発期間の前倒しを図ることによってコスト削減を図っている。

Q: 期末の配当予想を修正した理由を教えてください。

A: 当社は連結配当性向2割以上を目安として安定的な配当を目指しているが、当期は法人税等の負担増により当期純利益が損失となる見通しであり、配当は会社の利益を原資として支払われるものであることから、期末配当を修正したが、今期の実際の着地をみて最終判断をしたい。なお、来期以降はこの影響がなくなるため、来期からの中期経営計画を着実に実施することで、利益の成長による企業価値の向上で、株主の皆様への還元を図っていきたいと考える。

（注）本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。